



出荷期日の厳守は合璧の信条です。みんなこれを肝に銘じて働いています。ところが、勤務時間外となると、みんながそうとは限りません。そんなときでも自主的に仕事する一人の班長がいます。彼女の名前は金晴です。

ある日の晩8時を過ぎたころ、日本向け出荷品の出荷検査を行っている、ロットT3041の端子台ラベルがめくれ上がっていることに検査官が気付きました。すぐに全部の再検査が必要です。しかし、生産ラインの一部スタッフはすでに退勤していました。コンテナ車は到着しており、出荷時間まで残された時間は多くありません。というわけで、みんな頭を悩ませていたときのことです。別件で生産管理課の事務所にやって来た金晴さんがこのことを聞いて、「わたしに任せて」とひとこと。彼女はすぐに自分の生産ラインのスタッフと連絡を取り、急いで全部の検査を終了、その結果、出荷時間に間に合いました。彼女の自主的な仕事は言葉で説明しなくても、ただその行動を見るだけでわかりました。わたしたちも見習いたいものだと思いました。

上海合璧品質課同仁 徐春霞

入社感想

この会社に入った、その瞬間にわたしを感じたことはここには前途洋々の将来があるということです。董事長も将来10年の発展について話していますが、本当にこのような会社で働くことができ幸せに思っています。



わたしは董事長と話す機会がありました。これは信じられないことです。董事長と新入社社員が普通に会話ができるなんて、これは合璧が従業員を大切にしているからこそできることだと思いました。董事長は創業以来合璧40年の歴史、経営方式、企業文化、そして貴重な経験話してくれます。中でも印象に残ったのが電話の話です。台湾でも上海でも合璧に電話をかけたら、だれかが応対するタイプのです。たとえ日曜日であっても、会社の電話を自宅や携帯電話に転送して対応します。これにはとても感動しました。そしてこれこそが合璧の精神だと思いました。つまり、

会社のことを自分のことのように考え、いつでもしっかりやろうという精神です。この偉大な精神はほかの会社にはない、合璧独自のものです。

また、会社が唱えるいくつかの理念の中にも感動するものがあります。たとえば、2010年の行動方針にもある、会社の基本理念「同心、同歩、同調（心をつ一つにしてともに歩む）；関心、關懷、關照（気配りと思いやりをもって接する）」がそれです。この言葉の中には「人こそ財産、従業員重視」の考えが見取れます。これはほかの会社にはないものだと思います。そして、これこそが今日の厳しい環境の中で合璧が常に同業者をリードしてきた理由だと思います。

将来40年の方針についても、合璧はとても人材を重視しています。選抜、育成、活用などあらゆる方面において人材の重要性を打ち出しています。わたしは入社してまだ1年にもなりません、すでにこの会社でいろいろなことを学びました。わたしが学んだものは董事長のいう知恵だと思います。わたしは成長するために、今後さらに多くのことを体験し、学んでいきたいと思っています。

上海合璧国内営業課同仁 李奇

学校を卒業して社会人となり、わたしは選がよかったと思っています。なぜなら平凡で偉大な董事長と出会えたからです。

わたしにとって合璧は人生で最初の会社、つまり、わたしは以前にほかの会社で働いたことはありません。よくほかの会社の人がこういふのを聞きます。「あなたの会社はいいね。董事長に会えるだけじゃなくて、いっしょのテーブルで食事までできるんだから。うちの会社なんて、董事長どころか總經理を見たこともない。ましてやいっしょに食事なんて」。董事長といっしょに食事することはどうやらすごいことらしいです。だから、わたしの会社の董事長と従業員の間にはみんな驚きます。これがわたしの感じた董事長の平凡な一面です。

一方、偉大なところについては2007年に健康薬剤を買ってくれた話があります。董事長の人生にこうした話はいくつもあろうかと思いますが、わたしのような従業員にとってはとても印象深い出来事でした。

その年、わたしは体の調子が悪く、休みをもらって実家で静養していましたが、心配した同課長がそのことを董事長に伝えてくれました。すると董事長はわざわざ電話をくれて、基本的な治療方法を教えてくれました。また、台湾からビタミン剤を送ってくれました。わたしの静養中、董事長は何度も見舞いの電話をくれました。董事長には本当に感謝しています。もし董事長がいなかったら、今のわたしはなかったかもしれません。わたしはトップがこれほどまで従業員を大切にすることを知りません。本当に特別な会社です。わたしは合璧で6年間働いていますが、ここではこうしたことが普通に行われています。

董事長はわたしが最も尊敬する人物です。わたしが董事長から学んだこと、それは「だれにでも親切に、良い行いをしなさい。そして一生懸命仕事に励み、普通の生活の中に幸せを見つけなさい」ということです。わたしはこの教を守りながら、将来に向かって頑張っていきたいと思っています。

上海合璧品質課主任 劉雪花

黙って働く彼女

彼女は話があまり上手ではありません。見た目に恥ずかしがり屋の女の子です。彼女が上司に認められて昇格するきっかけとなったのは朝の5S運動でした。そのとき上司は彼女の中に金の輝きを見たのです。

5S活動で、彼女はいつも一番にやってきました。自分の持ち場をきれいに掃除したあと、進んで同僚の掃除を手伝います。その様子を見た5Sの監督は「こんなにまじめに5S運動に取り組む彼女は、仕事もきっとまじめにやっているにちがいない」と思ったそうです。ある日、彼女の同僚が出産のため休暇を取りました。このとき上司から同僚の代役に選ばれたのが彼女でした。昇格して新しい職務についた彼女は積極的に仕事を覚え、瞬く間に一人前になりました。

休憩時間、みんながおしゃべりしているときも、同僚が言い争っているときも、何人かの同僚が給料が低いと不満をいっているときも、彼女はひとり黙って働きました。

ある日、一人の同僚がいました。「まじめに仕事をする人といえば、それは小艾ひとりだけ。見てごらん」。その同僚が指差した方向を見ると、プロジェクトの横で金型の寸法を測っている小艾がいました。小艾というのは合璧品質管理課の艾曹維さんのことです。

上海合璧国内営業課副課長 歐陽婷



HOPPY 合璧流

不断地思考與行動 誠信規變創新卓越 創造價值共生共榮 感謝報恩回饋社會

出版社：合璧文化基金會 發行人：詹其力 編輯指導：陳慶煜、詹杰文 總編：王迎春、林生富 編輯委員：何彩綾、吳桂喜、李高燕 印刷：上海綜禾印刷有限公司

2010/04 第2期 04月10日發行

合璧電子創立40周年！これまでの40年を振り返り、そして次の40年に挑む！！



合璧会社の創立は1970年3月15日、今年でちょうど40周年を迎えます。この間、各界及び世界各地のお客様のご支援によって素晴らしい成果を上げることができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。さて、ここで会社の設立から今日までを簡単に振り返ってみたいと思います。

第一段階（1970～1979）創立期：1970年3月創立。熱硬化成形加工の製品を中心にコイルフォームやフェノリックチューブなどの製品開発、電子部品業界をリードする基礎を築く。

第二段階（1979～1987）転換期：成形技術を基にOEM製造へと第一次転換。その後、設計力の強化によってODMへ、さらに自社ブランド製造のOBMへと転換。台湾の大手電気メーカーから大量受注する。

第三段階（1987～1996）国際化推進期：国際市場を開拓し、競争力を強化する。主な製品は空調用端子台で、台湾市場98%、日本市場60%のシェアを占める。主な得意先はダイキン、日立、三菱電機、三菱重工、三洋電機、パナソニック、富士通など。

日系企業の海外拠点からの受注も多く、中国、東南アジア、ヨーロッパ、中東など50カ国以上に輸出。空調用端子台では世界1位となる。

第四段階（1996～2004）多元化・多国化移行期：国際市場の拡大、輸出増加、代理店や提携企業とのネットワーク化を推進。日本、上海、タイ、マレーシア、北米に海外拠点（事務所、工場、連絡所など）を設立、生産、顧客対応、製品調達などの業務を行う。

第五段階（2004～）変革再生期：創立30周年を過ぎたこの時期、積極的に変革と再生を考えた経営を行う。巨額資金を投じて上海に新しい工場（29,000㎡）を建設。合輝、合都、合利美などの関連会社や研究センター、市場開拓センター、顧客サービスセンターなどを設立、多元化、国際化、ネットワーク化を強化。企業形態は2次産業から2.5次産業へ移行、同時に中小企業から中堅企業に規模拡大。

合璧は以上五つの段階を経て今日に至っています。この間、40年にわたってタナベ経営の指導を受け、明確な経営理念の下で6S、改善提案、合理化運動を行う傍ら、早くからERPや財務ネットワークシステムなどを導入しています。また、ISO9001、14001、UL、VDE、TUVを取得、日本の大手企業の信頼を勝ち取っています。このほか、日本と台湾から顧問を招いて企業戦略の指導を受けたり、中国をはじめ世界各地に投資したり、従業員教育に力を入れたりしています。最近では日本やアメリカに留学経験を持つ幹部をマネージャーとした第二代国際化経営チームを結成、各国の文化を考慮した国際経営を行うとともに、創造力、品質、競争力の分野で向上を目指しています。

わたしは「目標を高く持ち、普通の人たちとの縁を大切に、簡単な喜びに幸せを感じる。広い視野で安定を求めれば事は成しやう」という哲学に三つの古代文明の特徴（中国文明：人と人、誠実と信頼、感謝に報いる。ギリシア文明：人と自然、真善美、共生共栄。インド文明：人と天、天人合一）を組み合わせた独自の価値観を経営理念としています。

そして「利益の創造は企業の経営過程。価値、共生共栄、感謝と恩返し、社会への還元、これこそわたしたちの最終目標」という考えを堅持し、毎年利益の5%を社会へ、25%を従業員へ還元しています。こうした活動と従業員の努力が会社の経営理念として深く根付けば、素晴らしい企業文化を築くことが可能で、それによってよい仕事ができると考えています。

過去の40年を振り返って感謝・感恩。次の40年に向けてスタート

Grid of images showing company milestones and products. Labels include: 台湾本社, 上海普陀区旧工場第一期, 上海普陀区旧工場第二期, 上海嘉定区新工場, 上海嘉定新工場公園化, 第一段階 創立期, 第二段階 転換期, 第三段階 国際化推進期, 第四段階 多元化・多国化移行期, 第五段階 変革再生期, 創業前設計製品-スイッチ, Coil Form 台湾で開発, 精密金型・成形品, 各種空調排水機, 複合部品-電源コード付き室内機.

利益の創造は企業の経営過程、「価値創造、共生共栄、感謝と恩返し、社会への還元」、これこそわたしたちの最終目標。